

尾道市事例発表

グリーンスローモビリティを活用した観光地域づくりについて
オシャレに「エコ」しよう!?

2020年 2月 8日

ひらたに ゆうこう

尾道市長 平谷 祐宏

尾道市の取組

「観光産業」を「成長産業の1つ」として「官民連携」して取組む

観光は、真に「我が国の地方創生の切り札、成長戦略の大きな柱」である。



JR西日本×尾道



瑞風 尾道駅停車
2017. 6. 27
日本遺産認定



サイクルシップ「ラズリ」 就航
2018. 10. 28



尾道駅 開業
2019. 3. 10

観光振興に関する連携協定締結式

西日本旅客鉄道株式会社 岡山支社・尾道市

共創



2019. 1. 17

JR西日本×尾道

せとうちパレットプロジェクト（～2022年）に向けて尾道は加速する

【高速クルーザー デザインイメージ】



ミタイケンひろしま

せとうち広島デスティネーションキャンペーン

2020.10/1 ▶ 12/31



宮島口～尾道

2020. 秋～



広島～瀬戸田～三原

2020. 夏～

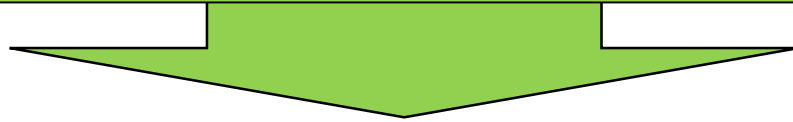
瀬戸内の十字路
尾道が「拠点」×JR西日本
海・陸・空



【高速クルーザー デザインイメージ】

地球のために「いい」ことをしよう!?

尾道市は低炭素社会の実現のために環境政策を契機に、経済・地域などの諸課題の同時解決を図るような「環境・経済・社会の統合的向上」を具体化した取組を推進していく。



IoT技術等を活用したグリーンスローモビリティの効果的導入実証事業
(環境省・国土交通省連携)

2019年6月27日採択

実証事業の目的

マイカー利用の削減によるCO₂排出の削減

尾道市街地

市街地の渋滞緩和

ラストワンマイルの
移動手段

瀬戸田地域

定期航路の維持

新たな交通手段
の提案

環境配慮型モビリティ連携による「次世代観光まちづくり」を推進する。

コンソーシアム

JR西日本×尾道

代表申請者

尾道市

(総括)

共同実施者

西日本旅客鉄道株式会社

(鉄道、EV、カーシェア等のモビリティとの連携、周知・宣伝)

備三タクシー株式会社

(運行の主体 尾道市街地)

本四バス開発株式会社

(運行の主体 瀬戸田地区)

株式会社電脳交通

(IoT機器、MaaSシステムの提供)

株式会社瀬戸内ブランドコーポレーション

(クルーズ連携による
広域観光、周知・宣伝)

株式会社日本総合研究所

(効果検証・報告書作成)

一般社団法人しまなみジャパン

(サイクリング連携、広域観光、周知・宣伝)

一般社団法人尾道観光協会

(地域の観光資源との連携、周知・宣伝)

尾道商工会議所

(地域の事業者との連携、周知・宣伝)

IoT技術等を活用したグリーンスローモビリティの 効果的導入実証事業



尾道グリーンスローモビリティ実証事業開始式

IoT技術等を活用したグリーンスローモビリティの効果的導入実証事業

環境省・国土交通省

2019年(令和元年)11月1日(金)

2019. 11. 1

COOL
CHOICE

賢い選択

尾道をGSM等が走る



スマートムーブ
"smart move"
「移動」を「エコ」に♪

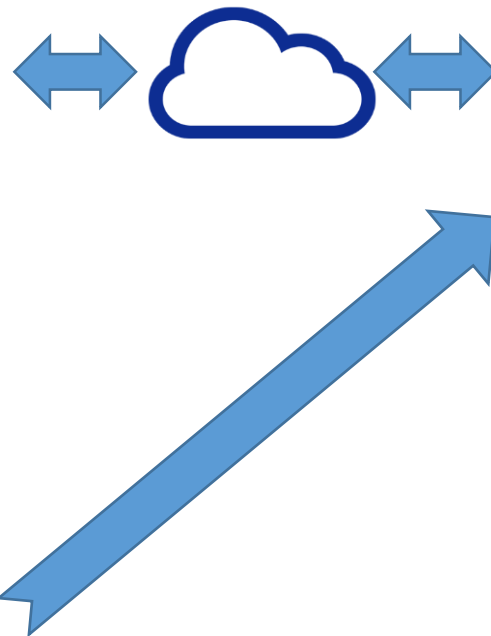
AI・IoT社会 スマートシティへ加速

それではここで、尾道を走るグリーン
スローモビリティの動画をご覧ください。



IoTの活用

運転席に設置する端末のGPSにより、
車両の位置情報、乗車状況を明示する。



株式会社電脳交通

利用者の声

1 1月1日の運行開始、第1期実証期間3か月の利用者は2,119名
(平均乗車人数：1便あたり3.8人)

11月の観光シーズンにおける平均乗車人数は **1便あたり4.3人**

※利用者アンケートから

良かったところ

- 風が気持ちよかった。
- 車両のラッピングが可愛い。
- 高齢者の観光には助かります。
- 散歩する気分で楽しめた。
- 尾道の細い路地を走って楽しかった。
- 運転手や他の乗客とのコミュニケーションが楽しい。



課題点

- もっと便数を増やしてほしい。
- もう少し大勢が乗れたらよい。
- 寒さ対策が必要。
- 満員で途中のバス停で乗れない。



運行事業者の声（備三タクシー株式会社）

3カ月間運行してみても

- お客様と会話がしやすい。観光客へは観光スポットを案内して喜ばれている。
- お客様は乗ること自体に満足されている。
- 喜んでもらえ我々の運行に対するモチベーションも上がる。
- グリーンスローモビリティによって運転手を新たに雇用できた。

運行に向けた課題

- 寒さ対策が必要
防寒シートをすれば寒さ対策にはなるが、景色を感じにくくなる。
- 雨天時等の安全対策
- 乗車できないお客様への対策（積み残し）



JR西日本×尾道・瀬戸田

せとうちパレットプロジェクト（～2022年）に向けて尾道は加速する

2020. 夏～

GSMが「瀬戸田」を走る



【高速クルーザー デザインイメージ】



各地域から電車で尾道駅へ

各港からオシャレな船で瀬戸田港へ



瀬戸田港からGSMが「まち」を走る

実証スケジュール

2019年度

2020年度

2021年度

地域

1 1月1日から
実証開始

尾道市街地

尾道市街地

瀬戸田地区

尾道市街地

尾道市街地

瀬戸田地区

尾道市街地

対象

観光客

観光客

市民

観光客

市民

料金

無償運行

有償運行

瀬戸田地域でのMaaSの検討（JR＋航路＋グリーンスローモビリティ）



2021年度まで実施

今後に向けて

☆観光客から、高齢者のラストワンマイルにつなげていく。

☆予約・決済システムの導入により、利便性向上を図る。

☆GSMを活用し尾道版MaaSを構築。

実証事業終了後 公共交通として事業化 スマートシティの取組に発展



相互連携



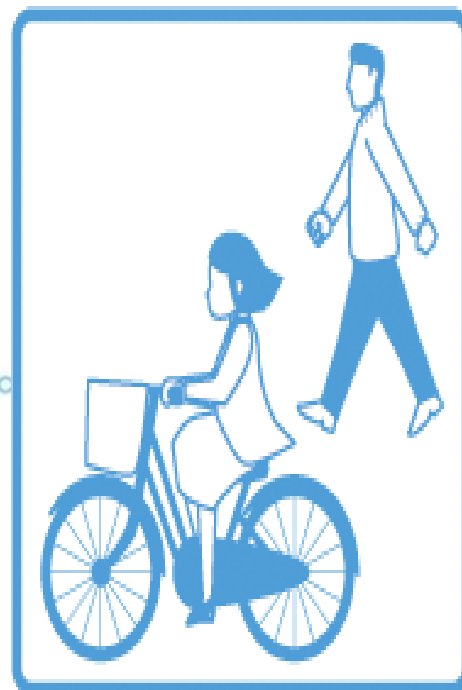
尾道市

環境×健康 → 美・観光
オシャレに「エコ」しよう!?

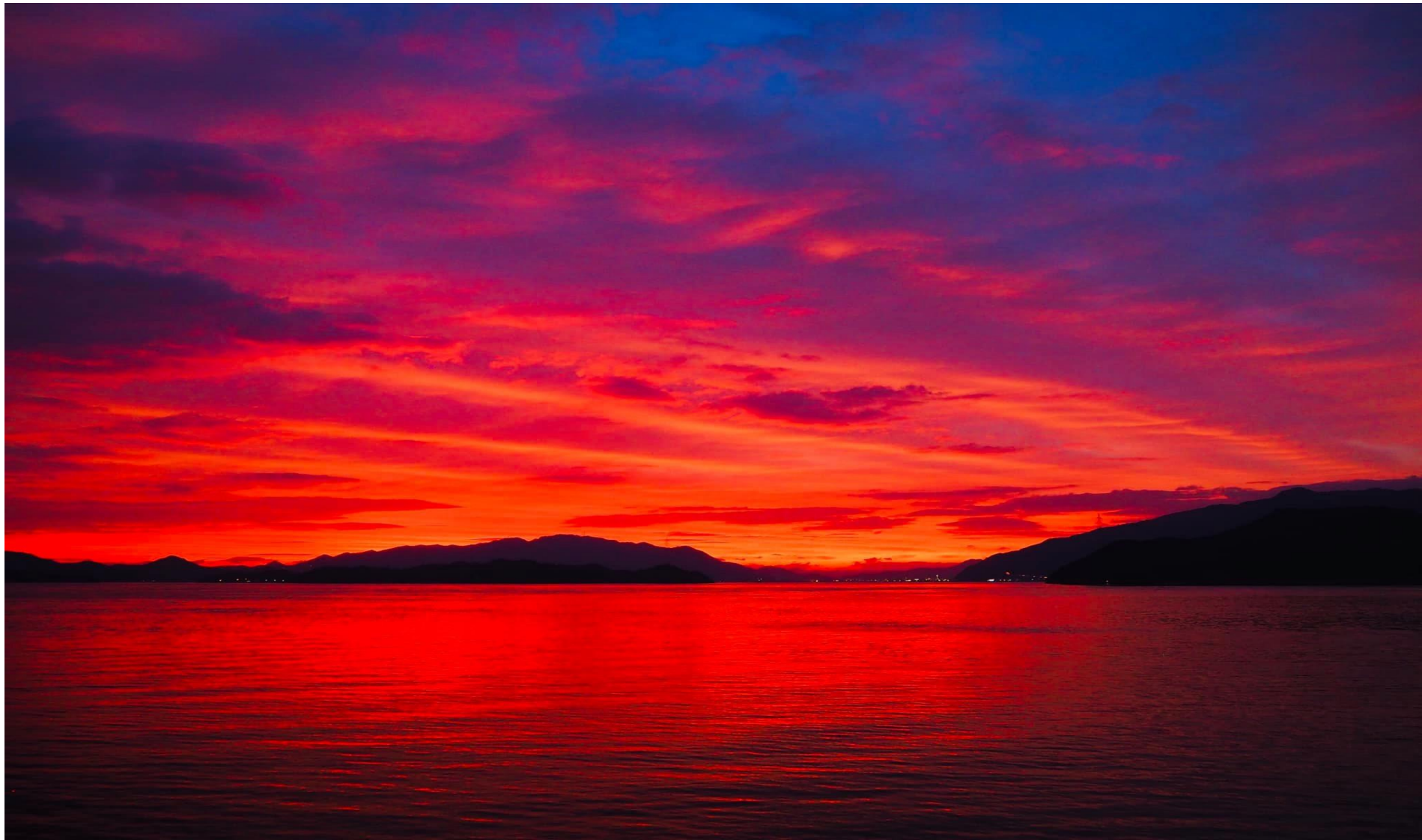


温暖化対策の国民運動

未来の
ために、
いま選ぼう。



地球のために「いい」ことをしよう!?



尾道市事例発表

グリーンスローモビリティを活用した観光地域づくりについて
オシャレに「エコ」しよう!?

ご清聴ありがとうございました

